

Press Release

平成28年春の外国人叙勲

リチャード・アンドリュー・メザーブ元米原子力規制委員会委員長の旭日重光章受章

平成28年4月29日
在米国日本大使館

平成28年4月29日（日本時間）、日本政府は、平成28年春の外国人叙勲受章者を発表し、この中でリチャード・アンドリュー・メザーブ元米原子力規制委員会委員長が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間の科学技術分野における関係強化に寄与した功績が認められ、本年、旭日重光章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日重光章
- ・功績概要： 日米間の科学技術分野における関係強化に寄与
- ・氏名： リチャード・アンドリュー・メザーブ (Richard Andrew Meserve) (男, 71歳)
- ・主要経歴： 元 米原子力規制委員会委員長
現 原子力規制委員会国際アドバイザー (日本)
現 電力中央研究所原子力リスク研究センター顧問 (日本)
- ・住所(国籍)： アメリカ合衆国バージニア州フォールズ・チャーチ地区

メザーブ氏は、元米原子力規制委員会委員長及び国際原子力機関(IAEA)国際原子力安全諮問グループ(INSAG)議長等を務め、米国及び世界における原子力分野で重要な役割を果たしてきた方です。同氏は、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会(政府事故調)国際アドバイザー、東京電力福島原子力発電所事故調査委員会(国会事故調)参考人、原子力規制委員会国際アドバイザー、及び電力中央研究所原子力リスク研究センター顧問として、原子力安全に関する知見と経験により、特に2011年の福島第一原子力発電所事故後の日本の原子力安全の向上に多大なる貢献をされました。